

子育てコラム

先日、図書ボランティアのお母さん方のお誘いで小学一年生に読み聞かせをしました。初めての経験でしたから、いつもの女子学生とは違って、なんだか緊張。「心臓がドキドキしています」と挨拶。これから皆で読んでみようとする詞を板書しました。

□□□□□
うれしくて ○○○ ○○
ぼくの おねがい
かなった とき
みんなに みんなに
わけて あげたい
この きもち
○○○ ○○ □□□□□

○と□に言葉を当てはめ、詞を完成させ皆で詞を味わうことにしました。ねらいはクイズで楽しく、ただ読むだけでは面白くないと思ったからです。いくつかヒントを子ども達とやりとりがあって、ようやくにして完成。完成した喜びが教室中にあふれました。

10 月 さつまいも 詞 /五十野惇

うれしくて ほっか ほく
ぼくの おねがい
かなった とき
みんなに みんなに
わけて あげたい
この きもち
ほっか ほく さつまいも



お話変わって先日見た NHKTV 百歳バンザイ！のお話は、さつまいもをキーワードにしたお話で、子ども達にも見せたい番組でした。出演は、夫をはやくに亡くして、十人の子ども達を女手一つで育てた苦楽の人生。そこには、いつも子ども達に喜んでもらおうとす

る様々なさつまいも料理、そしてにぎやかな暮らしのコミュニケーションがあったという番組でした。

一方、時代の子ども達は大のファーストフード好き！子ども達と一緒に○と□に言葉を当てはめながら、「さつまいも」は「うれしさ」につながるかどうか不安でした。そこで、考えついたのが一般的な「ほっか ほか」ではなく、子ども達の心を動かす動的な言葉「○○ ○○」を「ほっか ほく」としました。「ほっか ほく」を覚えることで、「百歳バンザイ！」のように自然の恵みを生活の中で強く生かすことができればと思ったからです。

学生のプログコメントから

この「さつまいも」を読んで、まず「ほっかほく」という言葉が、すごく温かくて嬉しくなってしあわせな感じがするなと思いました！秋に食べるほっかほかでほくほくのあのさつまいもの甘い味もこの歌の中から伝わってきます。きっと子ども達も「ほっかほく」という言葉で、色々な幸せを感じ取れるなと思いました。

またこの歌は言葉の繰り返しが多くてリズムカルで（うれしくって ほっかほく、みんなに、など）みんなでワイワイ楽しく歌っているのが想像出来ました。ひとつの幸せをみんなに分けてみんなで幸せになるというのがとても素敵ですね！子ども達にこういう事も伝えたいです。

みんなで円になって手をつないで、ワイワイにこにこ歌いたいなあと思いました！

「ほっかほく」という言葉が、なんだか気持ちをあたたかくさせます。かわいい言葉ですね。子供たちもこの詩を聞いて、分けてあげられるような気持ちになればいいと思いました。さつまいもを食べるジェスチャーをしながら読めば楽しいと思いました。

この歌を見ただけで、さつまいもが暖かいというイメージができあがりました。そして、寒い日に、手を温めながら食べているというイメージもできました。ほっかほく ほくという言葉は普段使わない言葉なので、余計そういうイメージがつかしました。

子育てコラム

先週に引き続いて、図書ボランティアで子ども達に読み聞かせをしました。お相手は小学一年生。ちょっと早めに教室に入って、これから皆で読んでみようとする詞を板書しました。

10月 くり

♪ くりの ○○○○
どうして いたい？
くりの ○○○○
どうして あるの？
♪ □□□□ だから
○○○○の とげで
まもって いるの



○と□に言葉を当てはめ、詞を完成させ、皆で詞を味わってみようと準備しました。ねらいは秋の味覚を詩ひとつで楽しむ構成です。たまたま栗の木が家の近くにあり、たわわに生っていましたので、それをいただき、子ども達に見せながら詞を紹介しました。いくつかヒントを子ども達とお話、楽しいやりとりがあって、ようやくにして完成。

くり 詞 /五十野惇

♪ くりの いがいが
どうして いたい？
くりの いがいが
どうして あるの？
♪ あかちゃん だから
いがいがの とげで
まもって いるの

やはり、クイズとなると楽しいのでしょう。おしゃべりというか大騒ぎになります。「○○○」は「いがいが」と、まあ一簡単に回答を言葉にしましたが、□□□□の答えはなかなか言葉になりません。そこで私は詞のなかの「まもっているの」から「皆は誰に守られているの？」と質問。すると、子ども達はすかさず「おかあさん」と答え、正解の「□□□□」を「あかちゃん」にたどりつきました。

子ども達は、詞をもう一度読むことで秋の味覚を味わうと同時に「人間と同じく栗もお

母さんと子どもがいるのだ」と感心。生命の不思議さ尊さを学習しました。

学生ブログコメントから

「私たちが食べる時には、つるんとしているけれども、まだ、木にくっついている栗は、いがいがしたものに包まれているね」そして、「あかちゃん栗を守っているいがいがは、みんなのお父さんやお母さんのようだね」とお話をしあげたいです。

かわいい唄だと思います。いがいががある理由が赤ちゃんだからいがいがのとげで守るためというのがかわいいです。私が親に聞いたときは、実を守るためと普通に答えられたので、この唄のように教えてもらいたかったです。子どもには、普通に一般的な答えよりも独特な答えのほうが豊かな想像力が付くと思います。

わたしもかわいい詩だと思いました。擬人法をつかってツツツした栗を赤ちゃんと例えていなるほどなと思いました。子どもたちには『いがいが』のお父さん&お母さんたちが『ツツツしている栗』の子どもたちを守ってあげているんだよ。と教えてあげたいです☆

子どもが気になる質問だと思います。子どもが聞きたいことが納得できて、分かりやすいので良いと思いました。親子の絆が深まると思います。

どうしてくりのいがいががあるの？あかちゃんだからとげでまもっているんだ！という答えに、目からうろこでした。先生のお話は、子供といえば…と考えるとまず思い浮かぶ「とびきりのユーモア」がたっぷりのお話ばかりですね！特にわたしは、自然の環境・現象・生物について子どもたちが自分なりに考えたお話またはおしゃべりが大好きです！ほんとうにびっくりさせられることばかりだと思います。わたしも子どもたちと一緒にそんな素敵なおしゃべりがしたい！というのが今後の目標のひとつでもあります。素敵なおしゃべりを持った先生の授業がこれからも楽しみです！

子育てコラム

「森のにおいってやさしいですしねえ」。とは言っても、花より団子ではなく、匂いより団子でしょうか。秋も深まったこの時期は、森というと、やっぱり「どんぐり」でしょうか。もし、栗ごはんの入ったお弁当、その傍にソーセージでかたどったどんぐりがあったりして、なんだか想像するだけで森の匂いを感じてしまいます。

可愛いからでしょうか。見つけては立ち止まって拾い、また歩いては立ち止まって拾う。いつのまにかポッケが一杯になってしまうどんぐり。

どのどんぐりも食べられるということではありませんが、食べられるどんぐりもいくつかあります。マニュアルを読むと基本はフライパンで炒ってみるとのこと。殻が固くて剥くのに苦勞するのではと思いますが、炒っているあいだに勝手に殻が割れて食べやすい、ちょっと栗風味とありました。

どんぐりから、コマを作ったり、やじろべえを作ったり遊んでいると、ふと、どんぐりの芽からどんぐりの木にしてみたいなんて思います。マニュアルを読むと、鉢植えでどんぐりから芽が出るまでの育て方が紹介され、そんなには難しくないとあります。

こうして、どんぐりを拾って食べて育てていくと、小さなどんぐりでさえ、広くて大きな森への好奇心、それからやさしい森の匂いが想像できます。

それにしても、どんぐりとは、なんでしょう。

10月 どんぐり

詞 /五十野惇

♪ かの きの みは なーに
どんぐり
しいの きの みは なーに
どんぐり
ならの きの みは なーに
どんぐり
くぬぎの きの みは なーに
どんぐり

♪ どんぐり つちに うめた
かの きの めが でた
しいの きの めが でた
ならの きの めが でた
くぬぎの きの めが でた

♪ そりゃ そうだ



学生のプログコメントから

小さい頃、誰もがする、どんぐり集め。わたしもどんぐり探しに夢中になったひとりです。どんぐりには、コマのようなまん丸な形のもの、リスが持っていそうな細長いもの、帽子

のついたもの、があったのを覚えています。けどそれらを一生懸命集めても、その後は眺めているだけで、飽きたら忘れてしまい、いつの間にかお母さんが捨てている、という無限ループ・・・でもでも！現代の子供たちにもどんぐり集めをしてほしい！すごく楽しいから！！集めたその後は、好きなだけ眺めて、忘れないうちに土に埋めてほしいです。芽が出たら、どんぐり集めの喜びもきっと三倍に。

私は最近まで、どんぐりに種類がたくさんある事を知りませんでした。子どもたちには、どんぐりにたくさん種類がある事を知ってもらいたいです。そのために事前にいろいろな種類のどんぐりを集めてきて、子どもたちには観察をしながら、絵を書いてもらい、どんぐり1つ1つ違うことを確かめてもらいたいです。

「・・・なにに」「どんぐり」の「どんぐり」の部分子どもたちに答えてもらったりと、クイズ形式でやったらおもしろいとおもいます。「めがでた」の部分を元気よく、ジャンプとかしながらやったらいいと思いました。

今の子ども達もきっと公園などでどんぐり拾いに熱中してると思います！でもどんぐりの形が違うのは気づくと思いますが、それが何の木の実なのかどんな木から落ちてきたのかまでなかなかわからないと思います。だからみんなで公園に行って色々などんぐりを集めて、「これは何の実なのかな？」とどんぐりといっても色々な形や大きさ、種類があることを知ってほしいです！

またどんぐりはどんぐりというもので、「どんぐり→木の実→木になる」ということが繋がらない子どももいると思います。あんな小さなどんぐりが大きな木になるなんて不思議ですよね！そういうことまでわかると、どんぐり集めがますます楽しくなると思います！



10月 いなご 詞 /五十野惇

- ① いなごは いねの はっぱを たべる
かまきりは いなごを たべる
- ② いなごは いねの はっぱを たべる
かえるは いなごを たべる

学生のブログコメントから

いなごがかまきりやかえるに食べられるなんて、知りませんでした。むしろいなごを見たこともありません。昔、田んぼの近くにすんでましたが、いなごを知らないのは、すぐに食べられるからかな？こどもたちにもいなごの天敵がかまきりやかえるなことを教えてあげたいです。

10月 いねの せいちょう おんど

詞 /五十野惇

① ハアー

いねや トット エンヤ トット
たねまき トット

ハアー

いねや トット エンヤ トット
めが でる トット

ハアー

いねや トット エンヤ トット
はっぱ でる トット

ハアー

いねや トット エンヤ トット
たうえです トット

ハイ ハイ ハイ おおきく なーれ

② ハアー

いねや トット エンヤ トット
ひりょう いれ」 トット

ハアー

いねや トット エンヤ トット
ほが でる トット



ハアー

いねや トット エンヤ トット

はなが さく トット

ハアー

いねや トット エンヤ トット

みが なる トット

ハイ ハイ ハイ おいしく なーれ

